

## 土木森林環境委員会 県内調査活動状況

- 1 日 時 平成25年2月14日(木)
- 2 出席委員(9名)  
委員長 堀内 富久  
副委員長 塩澤 浩  
委員 中村 正則 河西 敏郎 渡辺 英機 丹澤 和平 早川 浩  
木村富貴子 飯島 修
- 3 欠席委員 なし
- 4 地元議員 山下 政樹(笛吹市)
- 5 調査先及び調査内容  
【国道137号新御坂トンネル】(笛吹市御坂町・富士河口湖町)

○事業の概要 議会バス車内において、新御坂トンネルの天井板の状況について説明を受けた後、質疑を行った。主な質疑・答弁については以下のとおり。

問) 12月の点検は天井板に登って行ったのか。

答) そうである。

問) 12月の点検後、同じ構造である愛宕トンネルでモルタル片が落ちたり、フロントガラスが傷ついたりしたのだが、その事実関係を教えてほしい。

答) 12月の点検は天井板のアンカーボルトを含めた釣り金具の点検のみであり、トンネル全体の点検は行っていなかった。1月のモルタル片の落下は、目地部の化粧モルタルの一部が落ちたもので、すぐに点検を行い、将来的に落ちる恐れがあるモルタルを剥がし取った。2月のフロントガラスの損傷については、原因を特定できるのかすぐに調査したが、特定ができなかった。落下によるものではないと全否定できないので、今後、事故の対応については警察も含める中で当事者と話し合いを行っていく。

問) 昭和42年の開通だが、補修の実績はどうか。

答) これまでに送風機や天井板、漏水等の補修、またコンクリート覆工の裏側に、グラウト材注入も行ってきたところである。

問) 脱落と欠落の違いは何か。

答) 点検時の打音検査により落ちたものが脱落であり、点検時に既に抜け落ちていたものを欠落としている。



※バス車内にて概要説明・質疑



※トンネル換気室を視察



※トンネル天井板付近を視察

以 上